

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

教科担当者：（A, C, E組：夏目）（B, H組：西岡）（D, F, G組：山田）

使用教科書：（高等学校 現代の国語（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】文章理解に必要な基礎的な語句や文法を学び、主張と論拠、具体と抽象などの論理構造を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】筆者の意図を正しく理解して文章を解釈し、多様な情報と関係付けながら自分の考えを深める。

【学びに向かう力、人間性等】自分の考えを構成や展開を工夫して適切に文章化し、目的に応じた話し合い活動や発表を行う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・評論や小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 ・修辞を理解し、論の構造や情報と情報の関係を理解する。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について理解する。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について理解する。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○		○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア ・筆者の主張に対する自分の考えを、根拠をもって他者に説明できる。	○	○	○	7
	B 単元『羅生門』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を示して自分の考えを論述する方法を学ぶ。	・指導事項 主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について理解する。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出		○	○	・比喩などの修辞について理解を深めている。(1)カ ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えとともに、表現の仕方を工夫している。(B1)ウ ・自分の考えを論述するため、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。 ・内容の解釈を踏まえて下人の行為を評価し、自分なりの考えを持っている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	C 単元『水の東西』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 二項対立の関係を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ALに積極的に参加する。	・指導事項 東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 パワーポイントを活用したグループワークと発表	○	○	○	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。(1)ア ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア ・筆者の主張に対する自分の考えを、根拠をもって他者に説明できる。	○	○	○	8
	D 単元『砂に埋もれたカコロ・ユジ』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字、文化的背景についての知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情の変化を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 根拠を示して自分の考えを論述する方法を学ぶ。	・指導事項 一人称小説の構成について考える。戦争中の社会的背景をもとにして、父の心情を整理し、主人公の心情変化を丁寧に追う。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 レポートの提出	○		○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア ・本文中に根拠を示しながら作品を解釈し、その内容を工夫してまとめて積極的に説明・紹介しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
2 学 期	E 単元『フェアな競争』 【知識及び技能】 評論の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 論理の展開を的確に捉え、文章に含まれる情報を相互に関連付けながら内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の社会や政治の特徴・課題について調べる。	・指導事項 筆者が自説を述べるための論の展開を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」の関係を理解する。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 調べ学習 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを持っている。 ・自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し方や説明の仕方を工夫して文章化しようとしている。(B1)ウ	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	F 単元『鏡』 【知識及び技能】 小説の読解に必要な語句や漢字の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 表現の工夫を理解しながら、主人公の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にALに参加する。	・指導事項 「鏡」の象徴性や独白スタイルの語りについて考え、自分の意見を述べる。 ・教材 教科書、資料集 一人1台端末の活用 等 リフレクションシートの提出	○	○	○	・文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。(1)オ ・主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。(2)ア ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確に要旨や要点を把握している。(C1)ア ・筆者の主張に対する自分の考えを、根拠をもって他者に説明できる。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

教科担当者：（A、E組：宮成）（B、D、H組：夏目）（C、F、G組：鈴木）

使用教科書：（高等学校 言語文化（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語文化についての教養を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的思考力や豊かな想像力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉が持つ価値を認識し、言語文化の担い手としての自覚を持って他者や社会に関わる態度を育てる。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・読解に必要な語句や文法の知識を身に付け、作品の背後にある価値観や豊かな文化的背景を踏まえて古典の世界に親しむことの意義を理解する。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・言葉を通して積極的に他社や社会に関わったり、物の見方や感じ方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深める。 ・読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A 単元「児のそら寝」「絵仏師良秀」 【知識及び技能】 歴史的仮名遣いに慣れる。 【思考力、判断力、表現力等】 説話の特性や面白さに気づく。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読やALに参加する。	・指導事項 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人物描写の巧みさを知る。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等	○		○		・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・積極的に読話を読み味わい、互いに話の面白さを伝え合おうとしている。	○	○	○	8
	B 単元「漢文の学習」訓読 【知識及び技能】 訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 訓読の方法を習得し、各字の働きを理解して文章を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 古典として漢文を読む意義を知り、漢文訓読のための基礎知識や句法を習得する。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等	○		○		・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識や語句を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	C 単元「伊勢物語」 【知識及び技能】 用言の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 最初期の物語の性質や描写の特色について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に音読やALに参加する。	・指導事項 古典特有の世界観に慣れるとともに用言の活用・和歌の修辞について学ぶ。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等	○		○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・初期仮名物語に親しみ、伝奇性や心理描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとしている。	○	○	○	9
	D 単元「漁夫之利」「蛇足」 【知識及び技能】 語彙や句形の知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解き、主旨を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、古典の言葉と現代の言葉との繋がりを理解し、わかった内容を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
2 学 期	E 単元「伊勢物語」 【知識及び技能】 基本的な助動詞と和歌特有の修辞法について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 物語における和歌の役割や効果を考える、解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 他資料と読み比べ作品理解を深める。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割を理解したうえで、当時のものの見方や感じ方を味わう。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 P Pによる個人発表	○		○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・和歌の役割や作品の解釈について、異なるテキストを読み比べてわかったことを積極的に伝え合おうとしている。 ・助動詞の意味や活用について理解し、見通しをもって学習を進めている。	○	○	○	10
	F 単元「土佐日記」 【知識及び技能】 語句や助動詞の知識を増やし、基本的な助詞について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 文化的背景を理解し、作品中の批評・諧謔精神を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 歴史背景を調査し発表する。	・指導事項 話の中で和歌が果たしている役割を理解したうえで、当時のものの見方や感じ方を味わう。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 グループワーク	○		○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・日記文学の成立背景を踏まえて随筆意図を読み解き、文学史的意義について積極的に批評・討論しようとしている。 ・助動詞の意味や活用について理解し、見通しをもって学習を進めている。	○	○	○	8
	G 単元「狐借虎威」 【知識及び技能】 語彙や句形の知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解いて主旨を的確に捉え、論理を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 物語の舞台となる時代背景を知り、作中に書かれた考え方や論理の巧みさを読み解く。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 グループワーク			○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・作品の成立背景を踏まえて他資料と読み比べ、相違点を見つけようとしている。 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査							○	○		1
	H 単元「狐借虎威」 【知識及び技能】 語彙や句形の知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 たとえ話を読み解いて主旨を的確に捉え、論理を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の言葉と漢文のつながりを理解し、積極的に音読する。	・指導事項 史伝の舞台となる時代背景を知り、作中に書かれた考え方や論理の巧みさを読み解く。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 グループワーク	○		○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)ウ ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・作品の成立背景を踏まえて他資料と読み比べ、相違点を見つけようとしている。 ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。	○	○	○	10

	単元「徒然草」 【知識及び技能】 語句や助動詞の知識を増やし、基本的な助詞について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 素朴な随筆の特徴を理解し、作者の批判的精神を読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 日記や随筆についての文学史的意義について調べる。	・指導事項 随筆という文章の特徴を踏まえて、作者独自のものの見方や考え方を理解し味わう。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習	○	○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)(ウ) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。(1)(エ) ・随筆の特徴を把握し、本文中に表された作者の批判・教訓・感動等を読み取る。 ・日記や随筆の文学史的意義について調べまとめる。	○	○	○	8
	J 単元「唐詩」 【知識及び技能】 漢詩の技法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 詩に描かれた情景や人物の描写を味わい、作者の思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 詩を音読し、暗唱する。	・指導事項 表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)(ウ) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・漢詩のきまりを進んで理解しようとして漢詩を鑑賞しようとしている。 ・作品を読み味わい、詩に描かれた情景や心情を説明しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
3 学 期	K 単元「平家物語」 【知識及び技能】 語句や助動詞の知識を増やし、敬語の知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 常楽観や武士の生き方を把握して作品を解釈し、文体の変化と歴史的背景について考える。	・指導事項 歴史的背景を踏まえつつ、争いを背景として生まれた思想や人間の生き方を鑑賞する。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 寸劇・朗読等による映像作品の制作・発表	○	○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)(ウ) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、当時の価値観について理解し積極的に自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	9
	L 単元「論語」 【知識及び技能】 語彙や句形の知識を増やす。 【思考力、判断力、表現力等】 孔子の思想を理解し、論語が日本文化に与えた影響を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 孔子について調べ、発表する。	・指導事項 日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について学び、孔子の思想とその広がりを理解する。 ・教材 教科書、資料集、文法書 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習と発表	○	○	○	・古典世界に親しむために、古典の読解に必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。(2)(ウ) ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、叙述を的確に捉えている。(B(1)ア) ・『論語』が日本文化に及ぼした影響について理解し、他のエピソード等について調べ、孔子の思想を説明しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査							○	○	

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教 科： 国語 科 目： 文学国語 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A, C組：石田） （B, D, G, H組：宮成） （E, F組：神田）

使用教科書：（文学国語 筑摩書房 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重し、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 『山月記』 【知識及び技能】 フィクションの世界だからこそ際立つ人間の姿を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物のやり取りに注目し、小説の中の会話の表現方法を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 月を描いた場面を本文中から抜き出し、それぞれがどのような効果をあげているか、話し合う。	・指導事項 小説から情景や心情を読み取る ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「山月記」の読解を通して、文学的な文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深めている。（(1)ウ） 「山月記」を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。（(2)ア） 「山月記」を参考に、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。（アイ） 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	B 単元 『実体の美と状況の美』 身近な題材を取り上げ、問題を発見する 【読むこと】	・指導事項 ①美意識の中に潜む文化的な基準を、歴史上のさまざまな事例からたどる本文を読み取る。 ②筆者は日本人の美意識を「状況の美」に見いだしているが、日本の代表的な美術作品を参考にしながら、筆者の見解について話し合う。 ③「日本の美」だと言われている伝統文化や風俗、建造物などを挙げ、その起源を調べる。 ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ア 「実体の美と状況の美」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 イ 「実体の美と状況の美」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (2) 我が国の言語文化に関する事項 ア 「実体の美と状況の美」を読み、また本文を参考に「日本の美」だと言われている伝統文化や風俗、建造物などを挙げ、その起源を調べる中で、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
2 学 期	C 単元 『こころ』 【知識及び技能】 人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 人物のようすに留意して、物語を立体的に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 物語をもとに、自らの考えを深め表出させる。	・指導事項 「自己」を追い求める近代の特色について考える ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。（Ｂイ） 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	C 単元 『こころ』 【知識及び技能】 人間関係をおさえて、「私」の観察と分析、心理の揺れ動きを辿る。 【思考力、判断力、表現力等】 人物のようすに留意して、物語を立体的に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 物語をもとに、自らの考えを深め表出させる。	・指導事項 「自己」を追い求める近代の特色について考える ・教材 教科書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	「こころ」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)イ） 「こころ」の語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。（Ｂイ） 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	D 単元 『化物の進化』 柔軟に思考するために新鮮な着眼点を探る 【読むこと】	・指導事項 ①科学者には「化物教育」が必要だという筆者の主張は何を意味するか、読み解く。 ②自然現象をもとにした化物（妖怪）の例が他にないか、科学的な説明も含めて調べよう。				(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ア 「化物の進化」の読解を通して、言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 イ 「化物の進化」を通して、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、自ら文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙				

[illegible]

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教 科： 国語 科 目： 古典探究 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A, F 組：鈴木） （B, D, H 組：神田） （C, E, G 組：山田）

使用教科書：（精選古典探究 第一学習社 ）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
1 学 期	A 単元 「枕草子」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自由な文体の随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解し、積極的に自分の考えを伝え合おうとしている。	・指導事項 内容・形態によって三つに大別される章段のそれぞれを読んで、文章に表れたものの見方や考え方を理解する。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 等		○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） 学習の見通しをもって『枕草子』を読み、類集的章段・随想的章段・日記的章段があるという作品の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	8
	B 単元 故事・寓話 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 故事・寓話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 等		○	古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） 故事成語の意味を進んで調査するとともに、その由来となった話を読んで、わかった内容を説明しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査					○	○		1
	C 単元 更級日記 【知識及び技能】 文語のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 日記文学という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	・指導事項 晩年になってまとめられた自伝的日記を読み、少女時代の自分を客観的に見つめた作者像に触れる。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 等		○	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。（(2)イ） 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 内容を的確に捉えるために、文語の決まりを理解し、積極的に説明しようとしている。	○	○	○	7
	D 単元 十八史略 【知識及び技能】 訓読のきまりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、王が二人の大夫に下した判断の理由を読み取る。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人 1 台端末の活用 等		○	古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。（(2)ア） 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。（A(1)エ） 積極的に史伝を読み、二つの国の評判と実態を捉えようとしている。	○	○	○	3
定期考査					○	○		1	

2 学 期	E 単元 「源氏物語」 【知識及び技能】 主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	10
	F 単元 漢詩 【知識及び技能】 漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	・指導事項 漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) 漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
	G 単元 方丈記 【知識及び技能】 和漢混雑文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 文体の歴史的背景をふまえて『方丈記』を読み、学習課題に沿って、表現の特色を評価しようとしている。	・指導事項 鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。(1)エ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) 作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	○	○	○	7
	H 単元 史記 【知識及び技能】 史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。	・指導事項 登場人物の描写を読み解くことを通して、戦乱の時代を生きた人々の人物像について考察を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) 各場面の展開を整理し、登場人物の言動から、それぞれの心情や性格を進んで捉えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
3 学 期	I 単元 「大鏡」 【知識及び技能】 主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の意図を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 今までの学習を生かして歴史物語を読み、作者の意図をふまえて内容を的確に捉え、構成や展開について積極的に評価しようとしている。	・指導事項 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者たちの姿の一端に触れる。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めている。(2)イ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	○	○	○	10
	J 単元 孟子 【知識及び技能】 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。	・指導事項 『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』を読み、古代中国思想について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)カ) 積極的に『孟子』を読み、孟子が政治に「仁義」を求める理由と、彼の「人性」に対する考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1 合計 70

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 国語 科目 古典精読

教 科： 国語 科 目： 古典精読 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者： （①A B 組：鈴木） （②C D 組：神田） （③C D 組：鈴木） （④E F 組：神田） （⑤G H 組：神田）

使用教科書： （『精選 古典探究』第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典精読	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「古今著聞集」「今物語」 【知識及び技能】 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	・指導事項 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉え、古典の作品や文章に表れる表現の特色、主として和歌の修辞について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A1)ア) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ) ・積極的に説話を読み、和歌の修辞や和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 故事成語「推敲」「知音」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 故事という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。	・指導事項 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深めている。(2)イ) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ)	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
	C 単元「伊勢物語」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 歌物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 学習の見通しを持って読み、作中で和歌が果たす重要な役割について理解を深めようとしている。	・指導事項 物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ) ・歌物語を読み、文語のきまりや古典特有の表現に注意しながら、積極的に内容を捉えようとしている。 ・歌物語を読み、文章の中で和歌が重要な役割を果たす歌物語の特徴について、理解を深めようとしている。	○	○	○	4
	D 単元「十八史略」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。訓読のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立背景をふまえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。	・指導事項 戦国時代を背景とした国の状況を押さえ、登場人物の考えや人物像を読み取る。史伝という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア) ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A1)カ) ・積極的に史伝を読み、時代背景を踏まえて登場人物の関係を整理したうえで人物像を捉え、作品の展開や意図を進んで説明しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査							○	○	

2 学 期	E 単元「平家物語」 【知識及び技能】 主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	・指導事項 軍記物語を読んで、登場人物の行動と、それを支える思想や歴史的背景を理解し、考えを深める。軍記物語という文章の種類や和漢混交文という古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ ・軍記物語を思想的背景・歴史的背景に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 ・文体の歴史的背景をふまえて作品を読み、学習の見通しをもって、和漢混清文の特色について理解を深めようとしている。				○	○	○	4	
	F 単元「売油翁」 【知識及び技能】 随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深め、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 作者が主張している内容を、引用された話をふまえながら進んで説明しようとしている。	・指導事項 技術の習熟について述べた文章を、引用された話を参考にして読み、ものの見方や考え方を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A1)カ ・作者が主張している内容を、引用された話をふまえながら進んで説明しようとしている。				○	○	○	2	
	定期考査									○	○		1	
	E 単元「徒然草」 【知識及び技能】 さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に表れた無常観を読み取り、中世的なものの見方、考え方に対して理解を深めようとしている。	・指導事項 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事象に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア ・必要に応じて書き手の意図を捉えて内容を解釈し、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A1)カ				○	○	○	4	
	F 単元 漢詩 【知識及び技能】 漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 漢詩を鑑賞して、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。	・指導事項 漢詩の表現や技法への理解を深め、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを通して考えを広げる。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A1)カ ・漢詩の表現や技法への理解を深めるとともに、作品にこめられた作者の思いを進んで読み取ろうとしている。				○	○	○	2	
	定期考査									○	○		1	
3 学 期	G 単元「蜻蛉日記」 【知識及び技能】 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の意図を捉え内容を解釈し、構成や表現について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	・指導事項 女性による日記文学の先駆となった作品を読んで、自己の内面を赤裸々に書き綴った心情描写に触れる。作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の解釈を深める。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A1)ウ ・日記文学である『蜻蛉日記』を心情描写に注意しながら読み、積極的に自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。				○	○	○	4	
	H 単元「荘子」「韓非子」 【知識及び技能】 思想という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・指導事項 『論語』と並ぶ儒家の古典である『孟子』、儒家と対立する法家の古典である『韓非子』を読み、古代中国思想について理解を深め、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 ・教材 教科書、文法書、資料集 ・一人1台端末の活用 等			○	・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。(2)ア ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。(A1)カ ・積極的に『荘子』を読み、比喩や寓言にこめられた荘子の主張について説明しようとしている。 ・積極的に『韓非子』を読み、韓非が主張する国を治めるための方策について説明しようとしている。				○	○	○	2	
	定期考査										○	○		1
											合計	35		

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典 $\alpha\beta\gamma$

教科：国語 科目：古典 α 古典 β 古典 γ 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～H組：中川・㊦）

使用教科書：（『精選 古典探究』第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人の残した作品を通して他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
1 学 期	A 単元 「宇治拾遺物語」 【知識及び技能】 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、その説話の特質について理解を深めようとしている。	・指導事項 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉え、古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等			・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） ・積極的に説話を読み、和歌の修辞や和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	3
	B単元 「酒虫」 【知識及び技能】 主として句形と重要語句に関するきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 志怪小説という文章の種類や漢文特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 志怪小説のストーリー展開をたどりながら漢文特有の訓読や表現を味わう。この話を基にした日本の小説との違いを見ることで、結論の解釈の違いを学ぶ。 ・教材 教科書、文法書、図説、漢和辞典 ・一人1 台端末の活用 等			漢文に用いられている語句の意味や句法の理解を深め、漢文を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、漢文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 学習課題に沿って描写や表現に着目し、登場人物の関係性や主張について理解を深めようとしている。	○	○	○	2
	B単元 「源氏物語（葵の上の出産）」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等			古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	11
	B単元 「不顧後患」 【知識及び技能】 主として句形と重要語句に関するきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 志怪小説という文章の種類や漢文特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 古典における臣下の立場を理解し、諫言する臣下の論の展開を学ぶ。漢文における特有の対句表現を用いた論の展開に慣れる。 ・教材 教科書、文法書、図説、漢和辞典 ・一人1 台端末の活用 等			古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） 各場面の展開を整理し、登場人物のたとえから、それぞれの立場や主張を進んで捉えようとしている。	○	○	○	2
	定期考査					○	○		1

B単元 「売柑者言」 【知識及び技能】 語句の量を増やし語彙を豊かにする。古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる疑問、反語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 7 反復表現や対句構造に注目させて売柑者の発言内容を整理し、発言の意図を考える。 ・教材 教科書、文法書、図説、漢和辞典 ・一人1台端末の活用 等				反復表現や対句構造に着目して登場人物の発言内容を整理し、発言者の意図を理解できている。(1)ア) 本時の学習内容を振り返って内容を整理し、意見・疑問を積極t系に考えることができている。	○	○	○	4
B単元 「源氏物語〈明石の姫君の入内〉」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等				古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
B単元 「源氏物語〈女三の宮の降嫁〉」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等				古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア) 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典γ

教科：国語 科目：古典γ 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～H組：山田）

使用教科書：（『精選 古典探究』第一学習社）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたる国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人の残した作品を通し他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価標準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A 単元「宇治拾遺物語」 【知識及び技能】 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、その説話の特質について理解を深めようとしている。	・指導事項 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉え、古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等		○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。（A(1)ア） ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。（A(1)ウ） ・積極的に説話を読み、和歌の修辞や和歌を含んだ説話の特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	B単元「源氏物語〈葵の上の出産〉」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等		○	古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1
	B単元「源氏物語〈明石の姫君の入内〉」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等		○	古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	10
	B単元「源氏物語〈女三の宮の降嫁〉」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1 台端末の活用 等		○	古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ア） 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。（A(1)イ） 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査					○	○		1

2 学 期	E 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 古典文法の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 古文読解の法則や選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試古文問題読解のための単語力・文法力の定着を図り、実際の問題を通して読解の方策を身に付けさせる。 ・教材 問題集、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 (A1)ウ ・入試に向かって各自の目標を明確に持ち、古文読解における課題に気づき、その解決に積極的に取り組む姿勢を持っている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	E 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 古典文法の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 古文読解の法則や選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試古文問題読解のための単語力・文法力の定着を図り、実際の問題を通して読解の方策を身に付けさせる。 ・教材 問題集、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 (A1)ウ ・入試に向かって各自の目標を明確に持ち、古文読解における課題に気づき、その解決に積極的に取り組む姿勢を持っている。	○	○	○	10
3 学 期	定期考査				○	○		1
	E 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 古典文法の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 古文読解の法則や選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試古文問題読解のための単語力・文法力の定着を図り、実際の問題を通して読解の方策を身に付けさせる。 ・教材 問題集、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。(1)エ ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 (A1)ウ ・入試に向かって各自の目標を明確に持ち、古文読解における課題に気づき、その解決に積極的に取り組む姿勢を持っている。	○	○	○	4
	定期考査				○	○		1
					○	○		合計 65

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科： 国語 科目： 現代文演習 単位数： 1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（ AC組：西岡） （BD組：中川） （EFGH組：小堀）

使用教科書：（ 文学国語 筑摩書房 ）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 本文に即して正確な読解ができる。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 本文内容を根拠に選択肢を正確に選ぶことができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「小説とは何か」 【知識及び技能】 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 本作品を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。	・指導事項 近代を代表する作家独自のものの見方・考え方を理解するとともに、作品が書かれた背景や、他作品との関係にも関心を広げさせる。また、それを通して、我が国の文化的な特質への理解を深めさせる。 ・教材 教科書、図説、国語辞典 ・一人1台端末の活用 等〃 □ □ □ □	○	○	○	学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	B 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 現代文読解の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 選択肢の取捨選択方法について知る。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試問題に準拠した文章の論理的な読み方、選択肢の選択方法に慣れさせる。 ・教材 教科書、図説、国語辞典 ・一人1台端末の活用 等〃 □ □ □ □ □ □		○	○	論旨の整った、まとまりのある文章を正確に読み取り、複数の文章や問題文に関連した資料との因果関係や対立関係、共通点や相違点に注意して読解できる。小説や韻文、随想を本文内容に即して読み取ることができる。	○	○	○	5
	C 単元「絵画は紙幣に憧れる」 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、語感を磨く。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 本作品を読むことで、文体の特徴や修辭の働きなどを考慮して読み手を引き付ける独創的な文章になるための工夫について学びを深める。	・指導事項 隠喩の手法が、既成の概念を打ち壊し、新しい見方を教えてくれること、思いがけない共通項の発見から全く新しい視座を得る、柔軟な思考の手法を学ばせる。 ・教材 教科書・図説・国語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	5
	D 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 現代文読解の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 選択肢の取捨選択方法について知る。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 ・指導事項 入試問題に準拠した文章の論理的な読み方、選択肢の選択方法に慣れさせる。 ・教材 教科書、図説、国語辞典 ・一人1台端末の活用 等〃 □ □ □ □		○	○	論旨の整った、まとまりのある文章を正確に読み取り、複数の文章や問題文に関連した資料との因果関係や対立関係、共通点や相違点に注意して読解できる。小説や韻文、随想を本文内容に即して読み取ることができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1
2 学 期	E 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 現代文読解の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 ・指導事項 入試問題に準拠した文章の論理的な読み方、選択肢の選択方法を定着させる。 ・教材 教科書、図説、国語辞典 ・一人1台端末の活用 等〃 □ □ □ □ □		○	○	論旨の整った、まとまりのある文章を正確に読み取り、複数の文章や問題文に関連した資料との因果関係や対立関係、共通点や相違点に注意して読解できる。小説や韻文、随想を本文内容に即して読み取ることができる。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	
	F 単元「チャンピオンの定義」 【知識及び技能】 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 これまでの学びを踏まえて、自分のものの見方、考え方、感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ことばの力によって道筋を示そうとしてきた文学作品を通して、未来へと続いていく問題について考えを深める。	・指導事項 ことばは不自由な制約でもあり、解放への窓口であること、言語のフィルターを通してことによって世界の見え方が異なることを考えさせる。ことばで表現する者たちには ・教材 教科書、図説、国語辞典 ・一人1台端末の活用 等〃 □ □ □ □ □ □ □	○		○	学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	1

[illegible]

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

国語

科目 古典演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数：1 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（ABCD組：山田）（EG組：中川）（FG組：西岡）

使用教科書：（『精選 古典探究』第一学習社）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 古文・漢文の読解に必要な知識を身に着けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、先人の残した作品を通して他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようし、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元「発心集」 【知識及び技能】 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み、その説話の特質について理解を深めようとしている。	・指導事項 説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、展開や内容を的確に捉え、古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア ・文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。(A(1)ア) ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。(A(1)ウ) ・積極的に説話を読み、その特質について理解を深めようとしている。	○	○	○	5
	B 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 古典文法の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 古文読解の法則や選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試古文・漢文問題読解のための単語力・文法力・句法力の定着を図り、実際の問題を通して読解の方策を身に付けさせる。 ・教材 問題集、文法書、図説、古語辞典・漢和辞典 ・一人1台端末の活用 等		○	○	古典に用いられている語句の意味や用法・句法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 出題内容に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	C単元「大鏡」 【知識及び技能】 主として助動詞の識別、敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容を的確に捉えるために、作品の中で使われる敬語表現を積極的に理解して、説明しようとしている。	・指導事項 長編物語としてのストーリーをたどりながら、『大鏡』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。物語の中で和歌が果たしている役割を押さえながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 ・教材 教科書、文法書、図説、古語辞典 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	古典に用いられている語句の意味や用法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	D 単元「入試問題演習」 【知識及び技能】 古典文法・漢文句法の総合的な能力の伸長を図る。 【思考力、判断力、表現力等】 古文・漢文の読解の法則や選択肢の取捨選択方法について深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進路希望実現のために積極的に問題解決に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 入試古文・漢文問題読解のための単語力・文法力・句法力の定着を図り、実際の問題を通して読解の方策を身に付けさせる。 ・教材 問題集、文法書、図説、古語辞典・漢和辞典 ・一人1台端末の活用 等		○	○	古典に用いられている語句の意味や用法・句法の理解を深め、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ア 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。(A(1)イ) 出題内容に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理や展開を読み取り、解答の根拠を明確にして選択肢を選んでいる。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1

[illegible]